

議第 25 号

呉市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
 呉市火災予防条例の一部を改正する条例を次のように定める。

呉市火災予防条例の一部を改正する条例

呉市火災予防条例（昭和 37 年呉市条例第 19 号）の一部を次のように改正する。
 次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に、下線で示すように改正する。

改正前	改正後
<p>(燃料電池発電設備)</p> <p>第 8 条の 3 屋内に設ける燃料電池発電設備（固体高分子型燃料電池，リン酸型燃料電池，熔融炭酸塩型燃料電池又は固体酸化物型燃料電池による発電設備であつて火を使用するものに限る。第 3 項及び第 5 項，第 9 条並びに第 50 条第 10 号において同じ。）の位置，構造及び管理の基準については，第 3 条第 1 項第 1 号（アを除く。），第 2 号，第 4 号，第 5 号，第 7 号，第 9 号，第 17 号（ウ，ス及びセを除く。），第 18 号及び第 18 号の 3 並びに第 2 項第 1 号，第 12 条第 1 項（第 7 号を除く。）並びに第 13 条第 1 項（第 2 号を除く。）の規定を準用する。</p>	<p>(燃料電池発電設備)</p> <p>第 8 条の 3 屋内に設ける燃料電池発電設備（固体高分子型燃料電池，リン酸型燃料電池，熔融炭酸塩型燃料電池又は固体酸化物型燃料電池による発電設備であつて火を使用するものに限る。第 3 項及び第 5 項，第 9 条並びに第 50 条第 11 号において同じ。）の位置，構造及び管理の基準については，第 3 条第 1 項第 1 号（アを除く。），第 2 号，第 4 号，第 5 号，第 7 号，第 9 号，第 17 号（ウ，ス及びセを除く。），第 18 号及び第 18 号の 3 並びに第 2 項第 1 号，第 12 条第 1 項（第 7 号を除く。）並びに第 13 条第 1 項（第 2 号を除く。）の規定を準用する。</p>
<p>2～5 略</p>	<p>2～5 略</p>
<p>(急速充電設備)</p> <p>第 12 条の 2 急速充電設備（電気を設備内部で変圧して，電気を動力源とする自動車等（道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号）第 2 条第 1 項第 9 号に規定する自動車又は同項第 10 号に規定する原動機付自転車をいう。以下この条において同じ。）に充電する設備（全出力 20 キロワット以下のもの及び全出力 50 キロワットを超えるものを除く。）をいう。以下同じ。）の位置，構造及び管理は，次に掲げる基準によらなければならない。</p>	<p>(急速充電設備)</p> <p>第 12 条の 2 急速充電設備（電気を設備内部で変圧して，電気自動車等（電気を動力源とする自動車等（道路交通法（昭和 35 年法律第 105 号）第 2 条第 1 項第 9 号に規定する自動車又は同項第 10 号に規定する原動機付自転車をいう。第 12 号において同じ。）をいう。以下この条において同じ。）に充電する設備（全出力 20 キロワット以下のもの及び全出力 200 キロワットを超えるものを除く。）をいう。以下同じ。）の位置，構造及び管理は，次に掲げる基準によらなければならない。</p> <p>(1) 急速充電設備（全出力 50 キロワット以下のもの及び消防長が認める延焼を防止するための措置が講じられているもの</p>

(1) ～(3) 略

(4) 充電を開始する前に、急速充電設備と電気を動力源とする自動車等との間で自動的に絶縁状況の確認を行い、絶縁されていない場合には、充電を開始しない措置を講ずること。

(5) 急速充電設備と電気を動力源とする自動車等が確実に接続されていない場合には、充電を開始しない措置を講ずること。

(6) 急速充電設備と電気を動力源とする自動車等の接続部に電圧が印加されている場合には、当該接続部が外れないようにする措置を講ずること。

(7) ～(11) 略

を除く。)を屋外に設ける場合にあつては、建築物から3メートル以上の距離を保つこと。ただし、不燃材料で造り、又は覆われた外壁で開口部のないものに面するときは、この限りでない。

(2) ～(4) 略

(5) 充電を開始する前に、急速充電設備と電気自動車等との間で自動的に絶縁状況の確認を行い、絶縁されていない場合には、充電を開始しない措置を講ずること。

(6) 急速充電設備と電気自動車等が確実に接続されていない場合には、充電を開始しない措置を講ずること。

(7) 急速充電設備と電気自動車等の接続部に電圧が印加されている場合には、当該接続部が外れないようにする措置を講ずること。

(8) ～(12) 略

(13) コネクタ（充電用ケーブルを電気自動車等に接続するための部分をいう。以下この号において同じ。）について、操作に伴う不時の落下を防止する措置を講ずること。ただし、コネクタに十分な強度を有するものにあつては、この限りでない。

(14) 充電用ケーブルを冷却するため液体を用いるものにあつては、当該液体が漏れた場合に、漏れた液体が内部基板等の機器に影響を与えない構造とすること。また、充電用ケーブルを冷却するために用いる液体の流量及び温度の異常を自動的に検知する構造とし、当該液体の流量又は温度の異常を検知した場合には、急速充電設備を自動的に停止させる措置を講ずること。

(15) 複数の充電用ケーブルを有し、複数の電気自動車等に同時に充電する機能を有するものにあつては、出力の切替えに係

<p>(12) 略 ア 略 イ 異常な高温とならないこと。また、 <u>異常な高温となつた場合には、急速充 電設備を自動的に停止させること。</u></p> <p>(13)・(14) 略 2 略 (火を使用する設備等の設置の届出等) 第50条 略 (1)～(9) 略</p> <p>(10)～(13) 略 (14)水素ガスを<u>充てんする</u>気球 2 略</p>	<p><u>る開閉器の異常を自動的に検知する構造 とし、当該開閉器の異常を検知した場合 には、急速充電設備を自動的に停止させ る措置を講ずること。</u></p> <p>(16) 略 ア 略 イ 異常な高温とならないこと。</p> <p>ウ <u>温度の異常を自動的に検知する構造 とし、異常な高温又は低温を検知した 場合には、急速充電設備を自動的に停 止させること。</u></p> <p>エ <u>制御機能の異常を自動的に検知する 構造とし、制御機能の異常を検知した 場合には、急速充電設備を自動的に停 止させること。</u></p> <p>(17)・(18) 略 2 略 (火を使用する設備等の設置の届出等) 第50条 略 (1)～(9) 略 (10)<u>急速充電設備（全出力50キロワット 以下のものを除く。）</u> (11)～(14) 略 (15)水素ガスを<u>充填する</u>気球 2 略</p>
--	---

付 則

(施行期日)

1 この条例は、令和3年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に設置され、又は設置の工事がされているこの条例による改正後の呉市火災予防条例第12条の2第1項に規定する急速充電設備に係る位置、構造及び管理に関する基準の適用については、なお従前の例による。

(提案理由)

対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令の一部改正に伴い、所要の規定の整備をするため、この条例案を提出する。